

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
2	遠藤 盛正（14）	<p>1. 高齢者あんしんサポート事業について</p> <p>コロナ禍におけるひとり暮らしの高齢者の発熱時の受診についての重要性や緊急性について、令和2年11月定例会の一般質問で提案をさせていただきました。また、高齢者施設への新規入居者や介護従事者についてのPCR検査を進めていただくなど、敏速に対応いただいたことは評価するところです。</p> <p>その後、改善状況や不安の解消ができていないか、ひとり暮らしの高齢者や身寄りのない高齢者に改めてお話を伺ったところ、別の課題が浮き彫りになりました。それは、身寄りのない高齢者が急な入院をされる場合や、亡くなられた後の手続や葬儀について、面倒を見てくれる方がいるのかという不安をお持ちの方が多くことです。身寄りのない高齢者でも、介護が必要となれば、民生委員を介して地域包括支援センターなどに相談をすることができるのですが、自分が元気なうちに急な入院や葬儀をお手伝いいただけるのか相談する場所がないということです。</p> <p>現在、社会福祉協議会内に成年後見支援センターがありますが、個人の財産を守るという業務のイメージが強く、ちょっとした相談をするには敷居が高いようです。</p> <p>身寄りのない高齢者が、急な入院の際のお手伝いや亡くなった後の手続などについて気軽に相談できる窓口が必要だと思います。そこで、よろず相談ができる、高齢者あんしんサポートセンター窓口の新設をお願いしたいと思います。</p> <p>以下伺います。</p> <p>(1) 現在、富士市内のひとり暮らしの高齢者、身寄りのない高齢者をどのように把握していますか。また、その方々と民生委員、地域包括支援センターとの連携ができていないか伺います。</p> <p>(2) 元気なうちに終活について自己診断をしていただく、富士市エンディングノートができましたが、今後どのように市民に周知するのか伺います。</p> <p>(3) 先般、総務市民委員会協議会において、来年度の組織改正（案）が報告されました。以前よりお願いをしています、高齢者にも分かりやすい組織改正について、どのようにお考えか伺います。</p> <p>2. 東日本大震災から10年、富士市の防災対策の現状について</p> <p>未曾有の大災害と言われた東日本大震災から間もなく10年の節目を迎えます。現在、新型コロナウイルス感染症に翻弄されていますが、忘れてはいけない災害です。</p> <p>そこで、富士市としてこれまでの10年を振り返り、防災対策が予定どおりできているか、想定される災害には十分対応できるとお考えか、以下伺います。</p> <p>現在、富士市の防災対策や市民の防災意識の向上について、東日本大震災を風化させることなく取り組まれているのでしょうか。</p>	市長 及び 担当部長